



ARCHTECTURE REVIEW



建築見て歩記 その53

この「東山魁夷館」は「長野県信濃美術館」の別館として、谷口吉生の設計で1989年にオープンしました。美術館にありがちな、石などによる重厚な仕上げを避けた、アルミリブ材による、軽快な佇まいが新鮮でした。エントランスから2階へ上がり、メイン展示を見終わって階段を降りると池を見渡すラウンジに導かれ、アート鑑賞の余韻の中で風景を楽しめます。

CURRENTLY WORKS



Instagramを始めました！

「昔気質のデザイン職人集団」である当社も、IT時代に乗り遅れまいと「Instagram」を始めました。当社がデザインを手掛けた、様々な物件を、新旧にこだわらず、順次アップしています。時代は変わってもデザインのマインドは不変です。使いやすさを追求したうえで、それを美しく整理整頓し、人の心に刺激を与えたい…常にそれを考えています。

PRIVATE TOPICS

COVID-19



岡島の「前向き人生哲(明)学」

コロナ渦で大変です。患者も医療も経済も…良いことは何ともありません。最悪の中でも、何か良いことを探したい岡島は、やっとみつけました！それは、全てのことをじっくり見つめ直すチャンスをもたらしたことです。自分、そして家族、社員、友人、ご近所、SDG's、国内政治、世界平和…コロナのお陰で、自分を取り戻しつつあります。これは大きな喜びです。

EDITORIAL NOTE

12月といえばクリスマス！…特に、クリスマス・イブは盛り上がります。ですが、この「イブ」には大きな誤解があるのです。「イブ」とは、英語の夕刻「イブニング」から来ており、西洋の考え方では日没から翌日であり、日本での「イブ」である24日夕刻は、まさしく「クリスマス」当日なのです。

編集担当：太田・藤原